

様式第 5 号（第 7 条関係）

令和 5 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区内に 22 ヶ所の防犯カメラが設置されていた。
事業実施後の状況	新たに 1 ヶ所の防犯カメラを設置し、全 23 か所となった。
事業の効果	防犯カメラは犯罪被害の未然防止や犯罪の予防の有用性が認められている。地域の安全で安心な暮らしの実現を目指すために有効と考える。
今後の課題等	設置を増やしてほしいとの地域ニーズがあるが、別途、市が設置済の防犯カメラもあり、撮影範囲がかぶらないように、調整が必要である。また毎年の維持管理費用が増えていることが課題である。

様式第5号（第7条関係）

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	22台の防犯カメラを管理している。
事業実施後の状況	新たに1台増えて、全23台となった。
事業の効果	-
今後の課題等	本維持管理費用が令和4年提案事業の提案額の約28%を占めていたことが課題である。

様式第5号（第7条関係）

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	緊急通報装置管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	継続して緊急通報装置を管理している。
事業実施後の状況	-
事業の効果	小学校や中学校への主要な通学路にあり、安心感があるととともに犯罪の抑止効果が期待できる。
今後の課題等	いたずら防止や解除の仕方など、公園利用者や近隣マンション住民への周知が不十分である。定期的に近隣の立ち合いの元、点検や注意事項説明の機会をつくっていききたい。

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[市実施] 地域防災体制強化等事業(継続事業)
事業実施前の状況	昨年度から本協議会所有の防災備品の点検を行い、交換が必要な備品や不足している備品をリストアップした。
事業実施後の状況	ガスボンベ式発電機を3台、購入した。
事業の効果	地域内の自主防災組織が所有している防災備品のリストをそれぞれが作成し、現在、地域内にある全ての防災倉庫の備品リストを整備している。本協議会所有の備品の多くは五月丘小学校内の防災倉庫に集中しているが、発電機は避難場所となる体育館内に置き、避難時に活用できる。
今後の課題等	消耗品等の入れ替えを行っても、現状は倉庫の中が備品で一杯であり、保管場所の拡張が課題である。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[地域実施事業] 地域防災体制強化等事業(継続)
事業実施前の状況	通学路に設置の「飛び出し坊や」の多くは、破損し、設置位置についても見直しが必要であった。
事業実施後の状況	防災備品として投光器、飛び出し坊や、カセットボンベ一式を購入した。 また五月丘地域版「我が家の防災マップ」を作成し、校区内に全戸配布した。
事業の効果	新しい「飛び出し坊や」が地域内に9基設置され、児童だけでなく大人にとっても注意喚起でき、安全なまちづくりに取り組んでいる。 「我が家の防災マップ」は各家庭で完成させるタイプのマップで、地域住民が防災への備えについて家族と話し合い、考えるツールとして活用されたい。
今後の課題等	引き続き、防災備品を整備する。

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[市実施事業] 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 (継続事業)
事業実施前の状況	継続して本協議会事務所を管理している。
事業実施後の状況	同上。
事業の効果	事務所としての機能を発揮しているだけでなく、「五月丘まちづくりプラザ(通称まちプラ)」として、地域に開いている。
今後の課題等	共同利用施設五月丘会館内にあるため、閉館日に入館できず、本事務所として使用できなくなり、不便である。

令和 5 年 5 月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[地域実施事業] 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 (継続事業)
事業実施前の状況	2019 年 8 月に本協議会事務所を開設した。さらに 2020 年 9 月、本協議会事務所を、「五月丘まちづく りプラザ」(略称:まちプラ)として地域に開いた。
事業実施後の状況	まちプラは、地域住民が自由に立ち寄れるサロンと して、地域情報を掲示するまちの情報センターとし て、また地域に関するご意見や相談事などを直接伝 えることのできる相談所としての機能を有する。
事業の効果	開設して 3 年目となり、コロナも少し落ち着き、住 民の貴重な声を少しずつ聞くことができている。日 常の身近な相談が寄せられている。
今後の課題等	まちプラに関する広報活動について、公式 LINE を 使った発信をこの事業としてはできていない。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	AED管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区内に3箇所のAEDを管理している。
事業実施後の状況	五月丘会館とセブンイレブンに設置のAEDのバッテリーとパッドを交換した。
事業の効果	これまで使用実績は1度もない。安心感があると思っていたが、コロナ禍にあり、触れたくないという声も聞く。
今後の課題等	機器の更新時期が近づいており、3箇所の今後について検討し、令和5年度からは、五月丘会館のAEDのみ更新することを決めた。

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	市民レクレーション大会事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区スポーツ振興会主催の大会を支援しているが、この3年間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた。
事業実施後の状況	開催時間を短縮し、午前のみ実施。接触型の競技を避けるなど感染対策に工夫を凝らしながら実施。
事業の効果	3年ぶりの開催で、子ども達から大人まで楽しく競技に参加できた大会となった。
今後の課題等	コロナと共存するイベント運営。

令和 5年 5月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業（継続事業）
事業実施前の状況	本協議会の活動内容を地域住民に周知するとともに、地域住民に必要な情報を発信するために、年に2回、まちづくり通信（広報誌）を発行し、全戸配布をしている。
事業実施後の状況	上記の通り。
事業の効果	コロナ禍で3年ぶりに実施した交流事業も多く、地域住民に周知した。また、今年度は防災への本協議会の取り組みについて情報発信を行った。
今後の課題等	幅広い層に情報発信し、本協議会の認知度を上げるため、従来の紙による配付に加えて、公式 LINE をつくった。若い世代向けにも SNS 利用を取り入れていく。

令和 5年 5月 21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域防災訓練強化事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘1丁目・アルビス五月ヶ丘・五月丘5丁目の自主防災組織主催の合同防災訓練を支援し、本協議会も自主防災組織のない地域住民の受け皿となり参加している。
事業実施後の状況	5月に合同防災訓練を実施。3年ぶりの開催となった。
事業の効果	災害への備え、防災についての知識、そして防災に強いまちづくりを目指し、地域の方々が共助できる関係構築の重要性を学んだ。
今後の課題等	本校区は自治会の加入率が低く、自主防災組織がない地域に住む住民が多いことが特徴で、本協議会が今後もこれら地域の窓口となり、支援を検討する必要がある。

令和 5年 5月 21日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	コミュニティサロン設置事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎月2回、コミュニティカフェ五月丘(C.C.S.)を開催している。
事業実施後の状況	コロナ前の通常開催に戻した。イベントも少しずつ再開している。
事業の効果	2012年度から本事業を始めて10年となる。地域に認知され、住民の憩いや交流の場として定着している。尚、会場内には電子ピアノを置いて、誰でも自由に演奏できる「サロンピアノ」としての利用も好評を得ている。
今後の課題等	地域の利用者の中にはコロナ禍でお亡くなりになった方や外出制限で足が遠のいた方も多く、新規のお客さんを増やしていく必要があり、本協議会の公式LINEを使って呼び掛けている。

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	盆踊り大会支援事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区スポーツ振興会主催の大会を支援している。
事業実施後の状況	3年ぶりに盆踊り大会が開催。
事業の効果	本校区は地域イベントの少ない地域である。本大会は子どもからお年寄りまで楽しめる、地域にとって貴重なおまつりである。 本協議会としても地域の他団体と交流できるイベントであり、意義がある。
今後の課題等	特になし。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	五月丘フェスタ開催事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎年、五月丘小学校で実施。内容は模擬店、ステージ、フリーマーケット、スポーツゲーム等。
事業実施後の状況	3年ぶりに開催できた。PTAバザーと同時開催とした。
事業の効果	本事業は、子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめるイベントで、地域住民が交流できる良い機会となっている。地域の諸団体の協力を得て、共に取り組んでいることに意義がある。また地域の学校（渋谷中学校、渋谷高校）と連携していることも重要である。
今後の課題等	開催日の検討。4年ぶりに5月開催としたが、小学校・中学校、渋谷高校、ステージに出演されるジュニアの皆さんが通う学校の行事予定の確認が必要。

令和 5年 5月 31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	高齢者等の居場所づくり事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎月第3日曜日に、「おしゃべり広場」を開催している。
事業実施後の状況	10月からコロナ前の通常開催に戻した。
事業の効果	12月に実施したクリスマス会には多くの地域の方が来場され、ビンゴゲームに演奏会、楽しいおしゃべり等、大いに盛り上がり、楽しんでいただいた。コロナ禍であるからこそ、人々が交流できる場が必要で、それを求めていることが実感できた。
今後の課題等	地域の利用者の中にはコロナ禍でお亡くなりになった方や外出制限により足が遠のいた方も多く、新規のお客さんを増やしていく必要があり、本協議会の公式LINEを使って呼び掛けている。

令和 5年 5月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	花プロジェクト事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘小学校の授業の一環として、また渋谷中学校のクラブ活動の一環として、年2回実施。
事業実施後の状況	五月丘小・渋谷中学校教職員、PTA、地域住民の有志が協力して、子ども達と一緒に苗の植え込みを実施（小学校1000株、中学校800株）。 学校で育て、開花させた後は、校区内の自治会やしぶたに学園、池田五月山教会幼稚園、五月丘こども園、くすのき学園、郵便局、セブンイレブン五月丘店に花を配り、地域に花を増やしていく活動を実施した。
事業の効果	子ども達が育てた花を地域の公共の場に植えて、街並みに花を添える。学校と地域が連携して緑豊かなまちづくりに取り組んでいる。
今後の課題等	地域に配る花の数を増やしたい。校区が緑豊かなまちとなれるように目指したい。

令和 5年 5月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	イベント運営事業（継続事業）
事業実施前の状況	グランドゴルフ(年2回)、里山教室(年2回)、五月山ハイキング、卓球教室を開催。
事業実施後の状況	11月に里山教室、5月と10月にグランドゴルフ大会、12月に赤ちゃん先生を開催。五月山ハイキングと卓球教室は、校区スポーツ振興会主催のイベントでこれを支援。
事業の効果	グラウンドゴルフ大会は、外出制限で運動不足になりがちな地域住民が汗を流し、スポーツを通じて交流する貴重な機会となった。里山教室は、雨天の為、五月山での間伐作業は実施できなかったが、子ども達には五月山の自然や里山の大切さを伝えた。赤ちゃん先生は、子育て中の母親を支援するために、同じ子育て中の母親との交流や市内の様々な子育て支援の情報提供の他、育児に関する相談の場も設けた。
今後の課題等	赤ちゃん先生は、校区内の親子の参加を増やすための取り組みが必要。